

一般質問(要旨)

議員 J・P・A・R・Cにおける放射性物質漏えい事故への対応
知事 通報を受けた翌日に立ち入り調査を実施し、事業者に対して原因の徹底究明と再発防止などを要請した。国に対しても安全規制や指導監督の強化を要望した。今後は、安全対策の実施状況を立ち入り調査により確認するなど、さらなる安全確保に取り組んでいく。



鈴木 亮寛 議員
 いばらき自民党
 つくばみらい市選出
 一括方式

議員 J・P・A・R・Cにおける放射性物質漏えい事故では、さまざまな対応が必要であり、今後、徹底した安全対策が必要である。県のこれまでの対応と今後の取り組みは。
知事 通報を受けた翌日に立ち入り調査を実施し、事業者に対して原因の徹底究明と再発防止などを要請した。国に対しても安全規制や指導監督の強化を要望した。今後は、安全対策の実施状況を立ち入り調査により確認するなど、さらなる安全確保に取り組んでいく。



順調に進んでいるTX沿線開発地区のまちづくり(つくばみらい市)

議員 順調に進んでいるTXの整備効果の広域的な波及
知事 都市軸道路や圏央道などの基盤整備を進めるとともに、沿線開発地区への商業・業務系施設の誘致や周辺地域への企業誘致、科学技術を生かした新事業や新産業の創出による企業の集積に努める。(ほかに、TX延伸、都市計画道路東橋戸・台線の整備、体罰問題なども質問)

第2回定例会の主な日程

- 平成25年第2回定例会は、次の会期日程で開催されました。
- 6月5日(水) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 6月10日(月) 本会 議
- 6月11日(火) (一般質問・質疑)
- 6月12日(水) 常任委員会
- 6月13日(木)
- 6月14日(金) 調査特別委員会
- 6月18日(火) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

●質問者

- 6月10日(月) 鈴木 亮寛 (いばらき自民党)
- 大谷 明 (無所属)
- 石田 進 (いばらき自民党)
- 鈴木 将 (いばらき自民党)
- 6月11日(火) 志賀 秀之 (いばらき自民党)
- 石塚 仁太郎 (いばらき自民党)
- 八島 功男 (公明党)
- 錦織 孝一 (いばらき自民党)



大谷 明 議員
 無所属
 ひたちなか市選出
 分割方式

議員 開発は、国際港湾公園都市構想の理念にのっとり必要な機能の誘致を優先させるべきだが、特に都市ゾーンの誘致方針は。また、県と地元との意思疎通の方法は。
企画部長 コンベンション機能や交流支援機能、商業・業務機能を導入することとしているが、土地の需要動向を見極め、特定の機能に限定せず、誘致を進めることが適当と考える。また、地元市村と県で構成する協議会の幹事会などを開催して意思疎通を図る。

ひたちなか地区開発のあり方

乳幼児期(0歳から3歳)の家庭教育

議員 人を信頼する感性は乳幼児期に最も育まれるため、乳幼児に対する親の向き合い方は大切である。親への情報や教育機会の提供にどう取り組むのか。
教育長 今般県では、0歳から3歳までの子を持つ保護者向けの家庭教育支援資料を新たに作成する予定である。母子健康手帳の交付時に配布し、乳児家庭全戸訪問での個別相談などに活用したい。(ほかに、指定廃棄物の一時保管と最終処分、観光客増加に向けた新たな取り組みなども質問)



乳幼児期の子どもへの接し方が重要



鈴木 将 議員
 いばらき自民党
 つくば市選出
 一括方式

議員 本県の平均寿命は、全国平均と比べると0.5歳ほど短く、循環器疾患や糖尿病などの死亡率も全国平均を上回っている。平均寿命向上のため、今後どのように取り組んでいくのか。
知事 平均寿命の向上はもとより、健康寿命の延伸を目標に、高血圧、高血糖などの予防に重点を置き、市町村などと連携して、食習慣の改善や、禁煙、運動習慣の定着など、県民の健康づくりへの取り組みを促進していく。

本県の平均寿命向上

さらなる観光振興に向けた受け入れ態勢

議員 観光振興を図るため、「おもてなし」の心を育成するとともに、地域の課題に対して県関係部局や市町村が一体となって取り組む必要があるのではないかと。
商工労働部長 宿泊施設に対する「おもてなし」の強化に取り組む。また、地域の課題には、関係者間の連携を密にして受け入れ態勢づくりを進めていく。(ほかに、メンタルヘルス対策、発達障害児の早期発見なども質問)



観光振興のための受け入れ態勢づくり(写真は筑波山の梅まつりの様子)



石田 進 議員
 いばらき自民党
 神栖市選出
 分割方式

議員 医師不足により鹿行地域の医療体制は崩壊寸前である。県政の最重要課題として、医師不足地域への医師派遣義務付けなどの抜本的な制度改革を国に訴える必要があると思うが、知事の決意は。
知事 医師養成に多額の公費負担が行われている現状を踏まえ、医師の派遣義務付けをしないと地域偏在の解決は難しいと考えている。これまでも関東地方知事会などで提案しているが、今後とも国に強く働きかけていきたい。

医師確保対策

鹿島港の津波対策

議員 昨年八月に公表された新たな津波浸水想定によると、鹿島港周辺はこれまでの想定を大きく上回ることから、地元は大変な危機感を持っている。L1津波※に対応する鹿島港の整備は。
土木部長 現在整備計画案を取りまとめており、地元にご理解をいただいた後、直ちに測量・設計に着手し、集中復興期間である平成二十七年度内にできるだけ前倒しで整備を進めてまいりたい。(ほかに、津波からの避難場所の確保、津波情報の提供なども質問)



地域医療の再生には医師確保が最重要課題

県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。本会議の傍聴(定員300名)を希望される方は県議会議事堂5階の傍聴受付で簡単な手続きをいただただけで入場できますので、是非おこし下さい。なお、手話通訳を希望される方、委員会の傍聴を希望される方、その他詳細についてお知りになりたい方は、県議会事務局議事課にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

電話 029-301-5634
 F A X 029-301-5629

質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっています。
 ○一括方式
 質問項目すべてについて一括して質問し、一括して答弁を求める方式。
 ○分割方式
 質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

お知らせ

平成25年第2回定例会から本会議の議会中継に手話通訳を導入しています。

※【L1津波】…発生頻度が高く大きな被害をもたらす津波のこと。発生頻度が低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波をL2津波という。